



松井代表



谷平幹事長

土木技術者のボランティアグループであるシビルベテランズ&ボランティアズ(CVV、代表者・松井保、幹事長・谷平勉)は2日、大阪市北区の大阪市立総合生涯学習センターで

2005年度総会を開いた。アドバイスグループやまちづくりグループが05年度の活動を報告するとともに、06年度事業計画を決めた。

CVVは、主に土木の仕事に携わってきたOBの集まり。ネットワークを構成し、技術伝承をテーマにしたイベントや社会見学ガイドのほか、一般市民向けの見学会や総合学習支援の講師の要請にも応えている。

総会では谷平幹事長が①団塊の世代の取り込み②技術の伝承や自分史と気概などCVVの男たちの紹介③留学生支援を柱に、会の今後の活動の方向性を示してあいさつ。アドバイスグループリーダーの茂岡一政氏は、大阪の歴史にゆかりのある史跡や遺構、大学生向けに行われた京阪中之島新

線建設現場など市民向け見学会の開催について報告。また神戸市主催の「土木の学校」や大阪市内小学校の総合学習でスタッフとして参加、活動経緯を説明した。このほか、土木技術の相談活動とトラブルの解決、ラオス支援など国際協力と土木技術者について大学へ出前講義を行ったことなども報告した。

06年度は、引き続き市民見学会や総合学習支援のほか、出前講義として新規に「身近な防災＝わたしたちの町の防災診断教室」を大阪市の西区～大正区などの小中学校を対象に実施する。まちづくりグループリーダーの村上正氏は、御堂筋の位置付けと今後の在り方についての研究報告の状況を説明。06年度も御堂筋について研究を継続する。

NPO法人化について池亀建治氏は、CVVの理念とNPOの概念と社会からの期待感を説明し、「CVVのNPO法人化としては全体でなく構成する複数の活動グループの中の部分法人化を目指すべきではないか」との方向性を示した。

団塊世代取り込みを

CVVが総会

総合ニュース(行政・経済・業界)